

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査結果の概要についてお知らせします

－ 川崎市の児童生徒の学習・生活の状況 －

令和 8 年 4 月 23 日（木）に小学 6 年生、中学 3 年生を対象に実施した、全国学力・学習状況調査の川崎市の調査結果（速報版）をまとめました。中学校英語調査について、昨年度の理科調査に引き続き今年度は、生徒が GIGA 端末を使用し、文部科学省 CBT システム（オンライン上で試験や学力調査が行えるシステム）により、4 月 20 日（月）から 5 月 29 日（金）にかけて各学校が分散して実施しました。なお、本調査結果の詳細については、市教育委員会で分析した後、9 月頃、川崎市総合教育センターのホームページに公表する予定です。

1 実施の状況

調査を実施した川崎市立学校は 168 校で、児童生徒合計 20,417 人が参加した。

内 訳：小学校 115 校 中学校 52 校 特別支援学校 1 校（中学部）

参加人数：小学校調査 11,536 人 中学校調査 8,881 人（調査の種類により調査人数は若干変動）

2 教科に関する結果の概要

（1）教科に関する調査の平均正答数（問）と平均正答率（％）

ア 小学校調査

教科等	国語（13問）		算数（16問）	
	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）
川崎市	8.3	64.0	10.0	63.0
全国	7.9	60.9	9.0	56.4

イ 中学校調査

教科等	国語（15問）		数学（16問）		英語
	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均正答数 （問）	平均正答率 （％）	平均IRTスコア
川崎市	9.9	66.0	9.6	60.0	532
全国	9.6	63.9	9.1	57.0	499

※川崎市、全国の値は、公立学校の調査結果です。

※中学校英語は CBT で実施し、IRT スコア（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示しています。

（2）本市の傾向

いずれの教科も、全国の平均を上回っている。

（3）各教科調査結果の主な特徴

※【 】の値は全国の前年度調査結果

正答率を踏まえ、比較的良好な状況と考えられる主な設問（◇）、課題があると考えられる主な設問（◆）は次のとおりです。

- 小学校** ◇国語 ① 一 「相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる」 (76.8%) 【73.9%】
- ◆国語 ② 四 「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」 (35.8%) 【33.5%】
- ◇算数 ③ (1) 「小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができる」 (95.5%) 【94.5%】
- ◆算数 ① (4) 「日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できる」 (53.1%) 【45.2%】

中学校	◇国語	3	二「表現の効果を考えて描写することができる」	(92.3%)	【92.3%】
	◆国語	2	四「互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる」	(54.9%)	【52.7%】
	◇数学	7	(1)「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる」	(76.4%)	【75.2%】
	◆数学	7	(2)「数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」	(38.6%)	【33.9%】
	◇英語	6	「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用することができる」	(71.4%)	【67.3%】
	◆英語	10	(2)「社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができる」	(36.7%)	【27.8%】

3 児童生徒質問調査結果の概要

※数値は「どちらかといえば」を含む肯定的な割合。【 】の値は全国値。

学習に対する興味や授業の理解度

○国語の授業の内容はよく分かる。	小学校	83.0%	【81.5%】	中学校	79.5%	【76.8%】
○算数・数学の授業の内容はよく分かる。	小学校	79.4%	【77.5%】	中学校	74.3%	【74.2%】
○英語の授業の内容はよく分かる。				中学校	64.2%	【64.2%】

自己有用感等

○自分には、よいところがあると思う。	小学校	87.0%	【85.6%】	中学校	84.7%	【84.0%】
○将来の夢や目標を持っている。	小学校	81.3%	【81.8%】	中学校	66.7%	【67.6%】
○人の役に立つ人間になりたいと思う。	小学校	96.8%	【95.8%】	中学校	96.5%	【95.9%】

学習習慣等

○学校の授業時間以外の勉強時間		※「普段（月～金）1日当たりの時間」				
・2時間以上	小学校	36.6%	【21.6%】	中学校	45.4%	【30.1%】
・30分より少ない	小学校	18.8%	【20.2%】	中学校	13.5%	【18.4%】

地域や社会に関わる活動の実施状況等

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	小学校	81.7%	【80.1%】	中学校	70.0%	【72.3%】
---------------------------	-----	-------	---------	-----	-------	---------

主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導改善に関する取組状況等

○5年生（中学校1、2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	小学校	82.1%	【77.6%】	中学校	84.4%	【78.8%】
○5年生（中学校1、2年生）までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。	小学校	68.2%	【66.4%】	中学校	76.3%	【65.5%】
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる。	小学校	87.2%	【85.7%】	中学校	88.2%	【87.0%】

基本的生活習慣等

○朝食を毎日食べている。	小学校	93.0%	【93.3%】	中学校	88.0%	【90.9%】
--------------	-----	-------	---------	-----	-------	---------

I C Tを活用した学習状況

○5年生（中学校1、2年生）までに受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか。

（ほぼ毎日、1日に1回くらいの授業と1日に複数の授業で活用と回答した合計）

・ほぼ毎日	小学校	45.4%	【43.0%】	中学校	67.5%	【55.1%】
・週3回以上	小学校	72.6%	【68.8%】	中学校	89.4%	【78.2%】

【問合せ先】 川崎市教育委員会事務局総合教育センター
カリキュラムセンター ^{たかはし}高橋・^{すずき}鈴木
電話 044-844-3730（外線のみ）